



大山たか子通信

高ちゃんつうしん

* 2021. 1 No.52 *



市議会:087(839)2831 自宅:087(888)3272

eメール:takachan@mxi.netwave.or.jp HP:http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/

『冬は必ず春となる』ことを信じて！！



新型コロナウイルスとの闘いが続く中で、新年が開けました。昨年、コロナの猛威に翻弄され、国民生活も経済も大きな打撃を受けてしまいました。そして今なおその猛威が続いています。

その中で、医療従事者の皆様、介護従事者の皆様そしてエッセンシャルワーカーの皆様には、厳しい状況下の中、その懸命なる活動に心より感謝申し上げます。

今年一年、総力を上げ何としてもこの苦境を乗り越え、希望が持てる社会に切り開いていかなくてはなりません。そのためにも感染症対策をしっかりと行う中で、「1対1の対話」に徹し、お一人おひとりのお声に寄り添い、国と地方がしっかりと連携し、公明党の議員として全力で働いて参ります。今年も何卒よろしくお願い致します。

11月13日 高松市中央卸売市場の子ども食堂を視察



昨年11月から高松市中央卸売市場内に子ども食堂がオープンしました。そして市内にある16か所の子ども食堂が連携するネットワークが構築され、同市場の食材を無償提供する仕組みができました。青果や水産物などを市場内の事業者に協力を要請し、寄付された食材をネットワークを通じて、子ども食堂への提供を進めるものです。

高松市は、子ども食堂等を将来的に子どもが歩いて行ける場所(概ね1小学校区に1カ所)に

開設することを目指しています。しかし、運営の課題として食材の調達費用や人材不足などがあります。そこで本市は独自に運営補助を実施していますが、補助要領が実情とあっていないので見直しをすることや中央卸売市場やJA香川などと連携することで、食材の調達の支援につながるのではと、昨年3月議会で提案し、実現する運びとなりました。

また今、中央卸売市場はアート溢れる市場に変貌しています。お食事ができるところもありますよ、是非一度覗きに行きませんか。



11月27日 大西市長へ高松市議会公明党議員会として2021年予算編成に対して要望書を提出しました。





質問

- ①今年度のコロナ禍でのがん検診受診状況の予測
- ②受診率を下げないための取組
- ③特定健診とがん検診をセットで受診できる体制を整えること
- ④ナッジ理論を活用し、個別に選ぶ必要がない***オプトアウト方式**を導入することや、特定健診とがん検診をセットで受診できる医療機関の一覧表を作成すること
- ⑤肺がん検診に個別検診を導入すること
- ⑥子宮頸がん、乳がんのみの再勧奨ではなく、胃がん、肺がん、大腸がんについても再勧奨を実施すること
- ⑦***ナッジ理論**を活用した再勧奨を実施すること

*ナッジ理論…「そっと後押しする」という意味の英語で、選択の余地を残しながらもより良い方向に誘導する、また最適な選択ができない人だけをより良い方向に誘導すること。
 *オプトアウト方式…複数のがん検診の中から受診したい検診を選ぶ方法をオプトインといい、逆に受診したくない検診を選ぶ方法をオプトアウト方式といい、受診したくない理由がない限り受けることになるので、より多くの種類のがん検診を受けてもらえます。

答弁

がん対策について

- ③セットで受診できる体制は、特定健診のみを受診されていた方に、利便性向上だけではなく、受診意欲を高めるきっかけとなるが、財源確保等の課題もあるので、今後検討していく。
- ④特定健診とがん検診がセットで受診できる体制が整い次第、迅速に「オプトアウト方式」が導入できるようにしたい。また**医療機関の一覧表の作成に向け、検討を進める。**
- ⑥すべてのがん検診に対する再勧奨は困難ですが、医師会等と協議する中で、**検診期間の延長や現行の検診期間外に受診できるよう、各医療機関に要望**していく。

質問

- ①ひとり親家庭の環境等に配慮し、8月の開庁時間の延長など今後の対応
- ②若い世代に配慮し、SNSを活用した相談やすべての方々に届くように情報発信に取り組むこと
- ③養育費の不払い対策として、丁寧なアドバイスや費用補助を行うなど今後の対応について

答弁

ひとり親支援について

- ①非常に有効であるので、**来年度からの児童扶養手当の現況届提出に際し、期日を設定し、夜間開庁の実施**を検討する。
- ③国の動向を注視し、補助制度の創設は、今後調査・研究していく。また**養育費等を確保するために各種相談支援の効果的な実施ができるように検討**する。

質問

- ①職員が難聴に対する正しい理解と対応について学ぶこと
- ②難聴者への対応が必要な部署への最新情報通信機器の設置等を行うこと
- ③ヘルプマークやヘルプカードの更なる普及促進と市民への理解推進を図ること
- ④手話通訳派遣事業は本来直営が望ましいと思うかどうか
- ⑤香川県聴覚障害者協会への適正な委託料についての考え

答弁

障がい者支援について

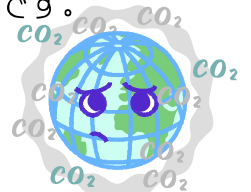
- ①職員向けの研修や周知等に、難聴者への理解や配慮を促す内容を盛り込み、意識啓発に取り組む。
- ⑤**県内他市町との均衡や財政状況などを勘案**する中で、**適切な委託料を定め**ていく。

12月3日 高松市がゼロカーボンシティを宣言いたしました!!

昨年、9月議会の公明党代表質問で、本市として『2050年ゼロカーボンシティ』を表明し、地球温暖化対策を強化するよう求め、それが実現しました。

これは、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることを表明することで、温暖な気候に恵まれ、災害が比較的少なく暮らしやすい高松を、未来に生きる次世代に引き継いでいけるように、市民や事業者の方々と共に総力を挙げて取り組んでいくことを宣言したものです。

※なぜ今必要か？2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにしないと、多くの人々の命を奪った猛暑や集中豪雨、大型台風などの異常気象がさらに激甚化してしまうからです。また温暖化により海面上昇で陸地が減少して、住まいを失う人々も増加してしまいます。地球温暖化の影響は大変深刻な問題だからです。



高松市議会は、新型コロナウイルスに関する差別の撤廃を掲げる

「NO コロナハラスメントに関する決議」を全会一致で可決致しました。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染者や濃厚接触者になり得る可能性があります。一方で感染者や医療従事者らへの差別や偏見が存在することも事実です。本市議会は感染症に関する差別や偏見を絶対に許さない、差別や偏見に繋がる情報の拡散は行わない。医療従事者らに感謝し、支援に協力することとしました。

★★高松市独自の新型コロナウイルス対策事業(抜粋)★★

* こども・子育て支援臨時特別給付金

子どもたちが使用するマスクや消毒液等の日常的な感染症対策用品に係る購入費などを支援するために児童手当を受給する世帯に対し支給

- ・対象児童一人当たり 1万円支給 (2月中旬支給予定で申請は不要)

* 新型コロナウイルス感染症特別追加経済対策事業

感染症の拡大が続き、消費需要の更なる冷え込みが懸念されるので、飲食業及び宿泊業に、感染防止対策を講じながら営業を継続する事業者に対して応援金を給付

- ・飲食業営業継続応援金・・・市内に店舗を有する飲食業者 1店舗当たり10万円
- ・宿泊業営業継続応援金・・・旅館やホテルを経営する宿泊業者 1施設当たり30万円
- 簡易宿泊所を経営する宿泊業者 1施設当たり10万円

* 地域経済の再活性化を図るため、キャッシュレス消費拡大キャンペーン第2弾

市内対象店舗にてPayPayで支払うと、決済金額の最大25%PayPayポイントを付与。(第1弾は20%)

- ・1回あたりの付与上限 : 2000円 (第1弾は1000円)
- ・期間中付与される合計上限 : 20000円 (第1弾は5000円)
- ・実施期間 : 令和3年1月5日～2月28日の2ヶ月間

* 地域公共交通運行特別支援事業

三密を避けた市民生活の移動手段を維持・確保するため、路線バスやタクシー事業者などに対し、運行が継続できるように支援

- ・路線バス等事業継続支援金 1系統当たり30万円
- ・タクシー事業継続支援金 1台当たり 5万円



高ちゃん活動報告



多肥上町の水路にガードレールが設置

昨年7月、この水路に自転車走行中の高齢者が転落、その後亡くなるという痛ましい事故があり、地域の方から宮本党员さんを通じて転落防止対策の要望を頂きました。その後無事ガードレールが設置されることになりました。



寺井町交差点の歩道の段差を解消

昨年11月、ご近所のSさんから、辻堂池から降りて横断歩道に向かう時、段差に気づかず転倒した方がいたので、その対策を要望されました。その後年末までに改善されました。



令和3年1月に「CALMがんと暮らしの相談室」が開設されました。

私がいつもご指導頂いている敬二郎クリニック院長が、『がん難民』をつくらない事が必要だと考えられ、がんになっても自分らしく、自分を失わず穏やかに暮らせるようにお手伝いをしたいと、相談室を開設されました。

日時：第1・3木曜日 午後2時から6時
場所：敬二郎クリニック内 高松市多肥上町1297-1
申込：FAX 864-3108 TEL 864-3109
相談料：無料

ご存じですか？



あっちこっち高ちゃん

10月4日 ピンクリボン街頭を実施
公明党香川県本部女性局で、10月のピンクリボン月間の意義をこめ、高松築港前で実施。



公明党 政策要望懇談会



10月24日~25日
公明党政策要望懇談会
を実施
25日に香川県聴覚障害者協会の代表から要望を伺いました。

11月8日 ウィメンズトークを実施
午前は古屋女性委員長、午後は竹谷女性局長にリモートで参加して頂き、介護従事者や管理職として働く女性の方々と活発に意見交換を行いました。



12月6日 石田衆議院議員と池田町の水道工事事業者さんを訪問
社長と改正水道法などについて意見交換をしました。

編集後記



コロナ第三波が押し寄せていますが、「コロナに負けない!!」強い思いで私たちができる感染症対策をしっかりと行い、皆で東京オリンピックの開催を祈りましょうね。

